

令和6年度 学校評価報告書目標設定

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒の多様な進路希望や興味・関心に応じた教育課程の改善を進める。</p> <p>②基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力、判断力、表現力等の育成及び主体的に学習に取り組む態度の養成を目指した授業改善を進める。</p>	<p>①新学習指導要領の3学年にわたる実施に伴い、本校生徒の課題となる資質・能力を把握する。</p> <p>②基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力、判断力、表現力等の育成及び主体的に学習に取り組む態度の養成を目指して授業改善に取り組む。</p>	<p>①日々の教育活動の状況、各種テスト、選択科目調査の結果等から本校生徒の課題を明確にする。</p> <p>②単元で身に付く力の明確化をテーマにして授業研究を行う。</p>	<p>①新学習指導要領の3学年に渡る実施に伴う本校生徒の課題を明確にできたか。</p> <p>②研究授業、授業互見等の授業研究をとおして、授業改善が進んだか。</p> <p>②学習到達度テスト、実力診断テスト等の結果において、学力の伸長が実現できたか。</p>
2	生徒指導・ 支援	<p>①生徒一人ひとりの支援を組織的に行っていく。</p> <p>②生徒を主体とした学校行事や生徒会活動を推進し、部活動を通して自己肯定感や責任感及び連帯感の涵養を図る。</p>	<p>①教育相談体制の充実を図り、生徒の学校生活における支援を行う。</p> <p>①交通ルール・服装・日常生活の中でルール規則を守る。</p> <p>②学校行事や生徒会活動を、生徒が主体的に企画・運営し、責任感や連帯感をはぐくむ。</p>	<p>①学年会・グループ会議において教職員間で情報共有を行い、必要な生徒へ支援・指導を行う。SC・SSW との情報共有するケース会議を開く。</p> <p>①学年・グループ・教科担当で注意・指導を行う。引き続き、自転車乗車時のヘルメット着用を呼びかける。</p> <p>②学校行事等でのリーダー育成を目的として企画・運営を支援する。課題等を明確にするため、定期的にそれらを共有したり検討したりする場を設定する。</p>	<p>①毎週の学年会・グループ会議に加え、月1回は情報の共有を行ない、当該生徒への支援・指導につなげられたか。また、必要なケース会議が開けたか。</p> <p>①事故件数・定期試験毎服装点検指導、遅刻指導等の指導回数を減らせたか。</p> <p>②生徒が組織的、主体的に学校行事等することができたか。行事や部活などに取り組み、達成感を得られたか生徒へのアンケートで検証する。</p>
3	進路指導・ 支援	<p>①生徒の自己実現に向けたキャリア教育を実践し、生徒一人ひとりの主体的な進路選択と進路実現を図る。</p>	<p>①生徒の主体的な活動のためICT機器の積極的活用や各種模擬試験の活用により、適切な進路支援を図る。</p>	<p>①情報の収集や整理・分析の場面で効果的なICT機器の活用を支援する。</p> <p>①卒業後の進路について真剣に考える機会を提供するとともに、学習到達度テスト・実力診断テストを実施し、適切な進路支援を図る。</p>	<p>①効果的で適切なICT機器の活用を支援することができたか。</p> <p>①将来の進路実現に対して前向きな姿勢を持たせられたか。また就職について地域と連携した具体的な支援が行えたか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
			②特別募集生徒の進路実現に向けて教育・福祉・労働の各機関との連携を進める。	①地域の企業と連携し職業について具体的に学ぶ機会を提供する。 ②特別募集生徒の1年生を対象に上級学校・就職先などの進路見学を行う。2年生には就業体験(インターンシップ)を実施する。 ②外部資源を活用し、幅広い学習内容を提供する。	①朝学習の取り組み状況の改善を行えたか。 ②関係各所と連携体制が構築できたか。生徒の実態に応じた体験的学習活動が実施できたか。
4	地域等との協働	①学校の魅力を積極的に発信し、地域に信頼される学校づくりを推進する。 ②地域との協働を推進し、地域の関係機関、企業研究所及び大学と連携した教育を実践する。	①学校の魅力を効果的に発信し、地域とのつながりを強化する。 ②地域との協働を推進し、生徒の実践的な学習を支援する。	①学校説明会やHPを活用し、学校行事や生徒の活動を積極的に公開する。 ②生徒が実践的なスキルや知識を習得できるよう支援する。	①学校説明会やHPの反応を分析し、情報発信の効果を測定する。 ②生徒の学習活動への参加度や、地域との関わり方を観察・検証し明確に支援できたか。
5	学校管理 学校運営	○安心安全な教育環境づくりを推進する。 ①エコの観点から省エネ、省資源の取組を行う。 ②防災学習の充実と被災時対応の検討を進める。	①省エネ、省資源に向けた実効ある取組を推進する。 ②防災教育を通じて防災意識の向上を目指す。また、被災時の対応、体制について検討を進める。	①令和5年度はエアコン使用時期である7、8、9月の電気使用量が前年度比10～15%増であったため、夏の電気使用量前年度比5%減を目標に節電に取り組む。 ①省資源に向けた取組みとして、会議等におけるペーパーレス化に取り組む。 ②防災学習を通じて防災意識の向上を図る。避難訓練など、被災時を想定した取組を実施する。	①夏の電気使用量削減において、数値目標を達成することができたか。 ①会議等でのペーパーレス化が実行できたか。 ②防災学習により防災意識の向上が図れたか。また避難訓練などの取組みが被災時を想定したものであるとして実施できたか。